

目次

1. 設計条件	
1.1 試設計の範囲	1
1.2 参考文献	1
1.3 自然条件	1
1.4 対象船舶の諸元	2
1.5 浮棧橋の諸元	2
1.6 浮棧橋の碇けい方法	2
2. 係留施設に作用する外力の計算	
2.1 係留施設に作用する風荷重	3
2.2 係留施設に作用する波力	4
2.3 碇けい杭に作用する波力	5
2.4 係留施設の設計外力のまとめ	5
3. 碇けい杭の検討(鋼管杭)	
3.1 碇けい杭の諸元	6
3.2 外力作用時に関する鋼管杭の設計	7
3.3 船舶の衝突に関する鋼管杭の設計	10
4. 船舶の係留方式の検討	
4.1 単独係留船舶に作用する外力の計算	12
4.2 係船ビーム方式	15
4.3 係船ブイ方式	18
4.4 係船杭方式	22
5. 弾性係留索の検討(参考)	
5.1 検討概要	29
5.2 弾性係留索の諸元	29
5.3 弾性係留索の設計	31
5.4 係留アンカーの設計	33
5.5 計算結果	34